

国民健康保険中央会 全国国民健康保険診療施設協議会 地域医療現地研究会

第26回

メインテーマ

「総合医育成で地域医療再生」

～地域包括医療・ケアにおける中小病院の役割～



東大社式年神幸祭(東庄町)



いちご狩り風景(東庄町)



国史跡:大原幽学居宅兼教導所(旭市)

平成24年

開催日

5月25日(金)~26日(土)

会場

開講式・概要説明：東庄町公民館

地域医療交流会：鹿島セントラルホテル(茨城県)
全体討議・閉講式

研修施設：東庄町国民健康保険東庄病院
東庄町保健福祉総合センター
オーシャンプラザ(療養型病棟・社会福祉協議会等)
総合病院国保旭中央病院

東庄の水辺

撮影 越川 宥

主催

社団法人国民健康保険中央会
千葉県国民健康保険団体連合会

社団法人全国国民健康保険診療施設協議会
社団法人千葉県国民健康保険直営診療施設協会

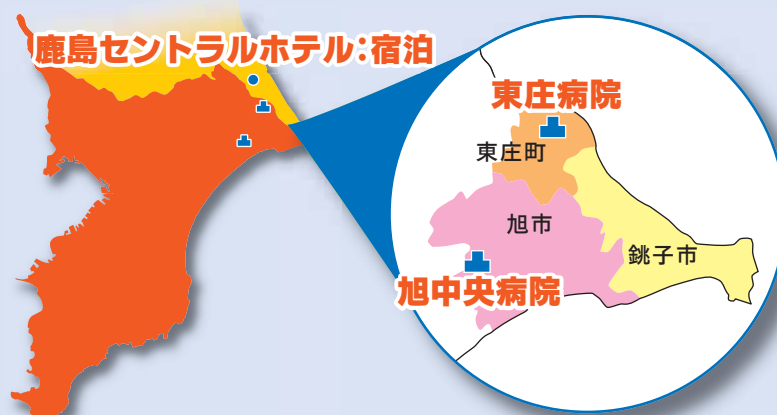
国保東庄病院は、「東庄町健康づくりの里構想」に基づく保健・医療・福祉・介護が一体となった中核施設で、眼下に大河利根川が流れ、鹿島灘を眺望できる自然環境に恵まれた高台に平成8年に全面新築移転をしました。また、療養型病棟も平成12年10月に完成し、長期療養者や要介護者の受け入れを行っています。

現在は、常勤医師5名による診療と、整形外科・眼科の各非常勤医師による診療に併せ、救急告示病院として、24時間体制での救急患者の受け入れを行っており、地域に密着した病院として、重要な役割を担っています。

また、総合病院国保旭中央病院のご支援をいただき、緊密な連携を図り、地域住民が安心できる医療体制を整えています。

TOHNOSHO

東庄病院・東庄町保健福祉総合センター
オーシャンプラザ(療養型病棟・社会福祉協議会等)



旭中央病院は、病床数989床、診療科36科、診療圏人口は約100万人を数える自治体病院で地方公営企業法を全部適用し、開院以来50年以上黒字経営を続けています。病院の主な3つの役割として、1つ目は市民病院として24時間応需の救急医療を行っており、年間の救急外来患者数は6万人を超えます。2つ目は、地域中核病院として救命救急センター、周産期医療センター等を有し高度医療の提供や災害拠点の基幹病院の役割を果たしています。3つ目は教育研修病院として看護専門学校を持ち臨床研修教育病院として50名以上の初期臨床研修医を受入れています。